

第95期事業報告

サッポログループの現況 事業の経過及び成果

■ 経済状況

n 当期の日本経済



- 輸出の回復や雇用所得環境の改善により
緩やかな回復基調
- 自然災害が日本経済に大きな影響
- 米中貿易摩擦や利上げ動向、各国の政情
不安などが投資に影響

先行き不透明な経済環境

■ 経営方針

サッポログループ長期経営ビジョン「SPEED150」

2026グループビジョン

サッポログループは
世界に広がる『酒』『食』『飲』で
個性かがやくブランドカンパニーを目指します

2018年度の財務目標達成を目指す

売上収益

5,219億円

前期比 147億円 減 

営業利益

108億円

前期比 20億円 減 

税引前利益

95億円

前期比 20億円 減 

親会社の所有者に帰属する
当期利益

85億円

前期比 13億円 増 

主要事業の概況

国内酒類事業

n ビール類総需要



前期比 98%程度と推定

■ 国内酒類事業

n 経営ビジョン

「オンリーワンを積み重ね、No.1へ」

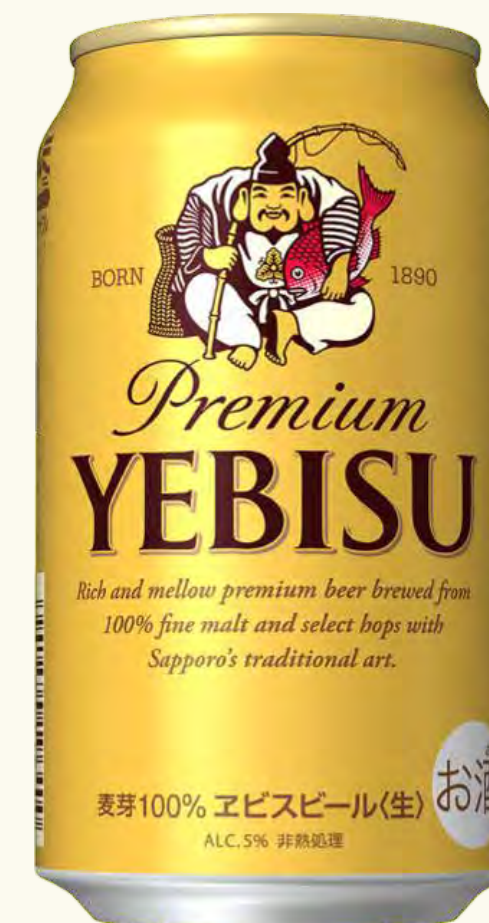
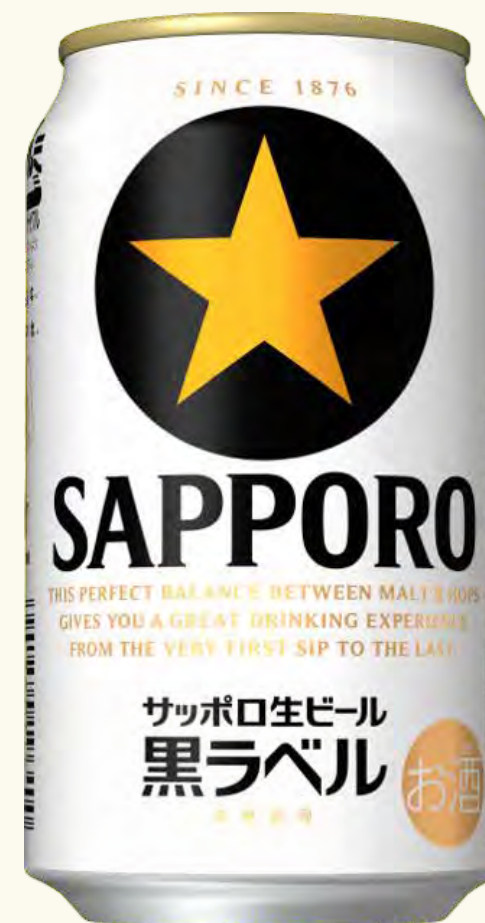
サッポログループならではの価値の提供を積み重ねるとともに、
「続・ビール強化」を事業方針に掲げ、
積極的な投資をすることで、さらなる成長を目指す。

国内酒類事業：ビール

「サッポロ生ビール黒ラベル」

→ 一貫したマーケティング戦略が
功を奏する

「エビスビール」



4年連続の売上アップを達成

国内酒類事業：発泡酒・新ジャンル

「サッポロ 極ZERO」
「サッポロ 麦とホップ」

→ 市場の競争激化
RTDへの需要シフト



影響を受け苦戦

国内酒類事業：その他

RTD

「サッポロチューハイ 99.99 フォーナイン」
「男梅サワー」
「キレートレモンサワー」
「愛のスコール ホワイトサワー」

主軸製品が順調に推移

ワイン

グローバルブランド「ペンフォールズ」
シャンパーニュ「テタンジェ」
日本ワイン「グランポレール」

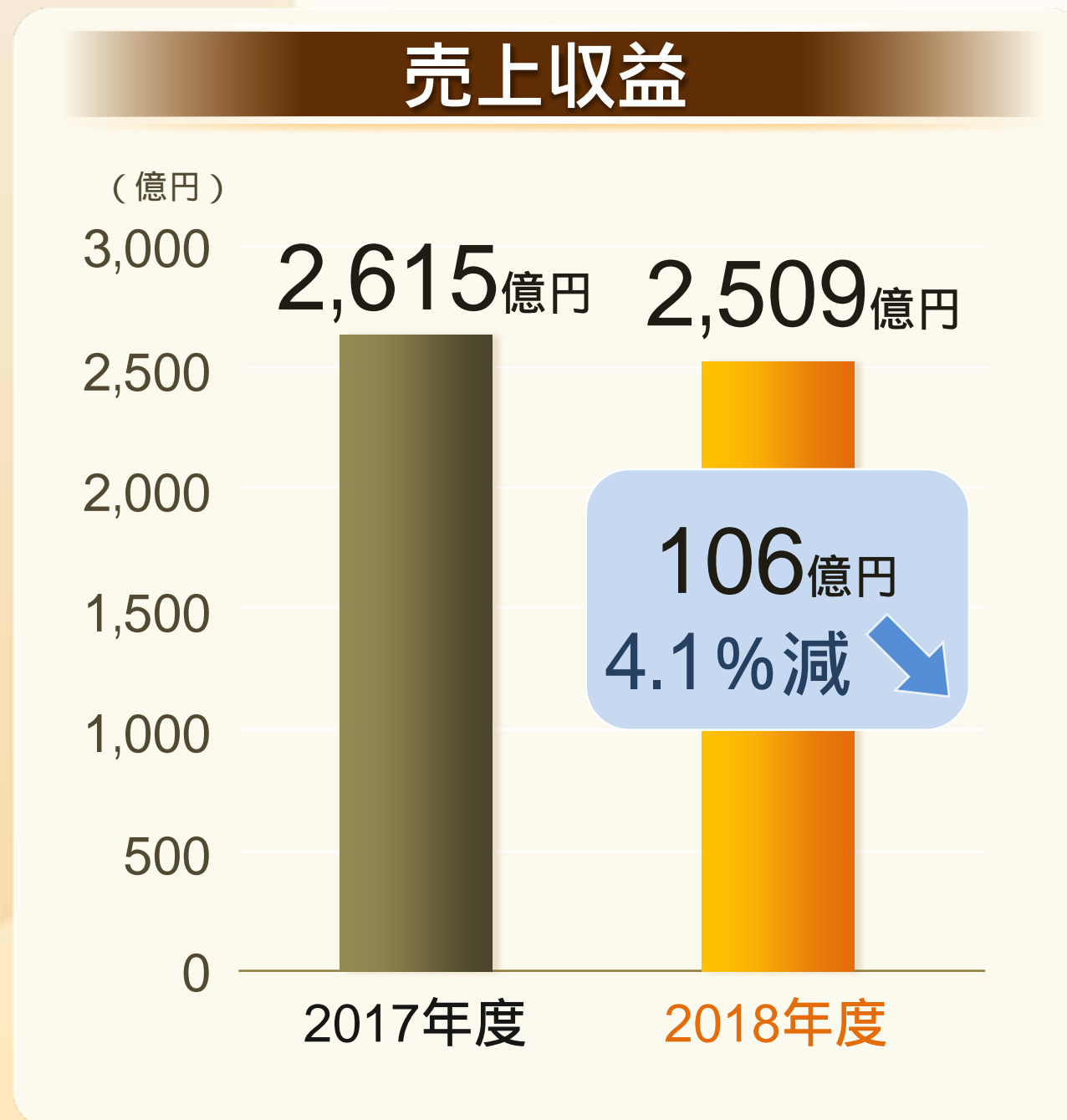
スピリッツ

本格スコッチ・ウイスキー「デュワーズ」



RTD・ワイン・スピリッツの事業成長を加速

国内酒類事業の業績



国際事業

n 北米のビール市場



- ビール市場の総需要は、アメリカ、カナダともに、前期を下回ったと推定

n アジアのビール市場



- アジア経済は成長率が鈍化
- 各国で物品課税を実施・検討する動き

プレミアムビール市場で、ブランド力の強化

国際事業：北米

n ビール市場

カナダ「スリーマン社」

➡ 積極的な販売活動を実施



スリーマン社 商品



サッポロUSA社 商品

アメリカ「サッポロUSA社」

アメリカ「アンカー社」

➡ シナジー創出に向けた体制づくり



アンカー ブリューイング社



アンカー ブリューイング社 商品

北米プレミアムビールブランドの強化を図る

国際事業：北米

n 飲料市場

アメリカ「カントリー ピュア フーズ社」

アメリカ「シルバー スプリングス シトラス社」

➡ 両社の経営統合を実施



カントリー ピュア フーズ社 商品



シルバー スプリングス シトラス社
商品

業績改善に向けた取り組み

国際事業：東南アジア

n ベトナム

➔ 構造改革を推進、輸出の強化

n その他地域

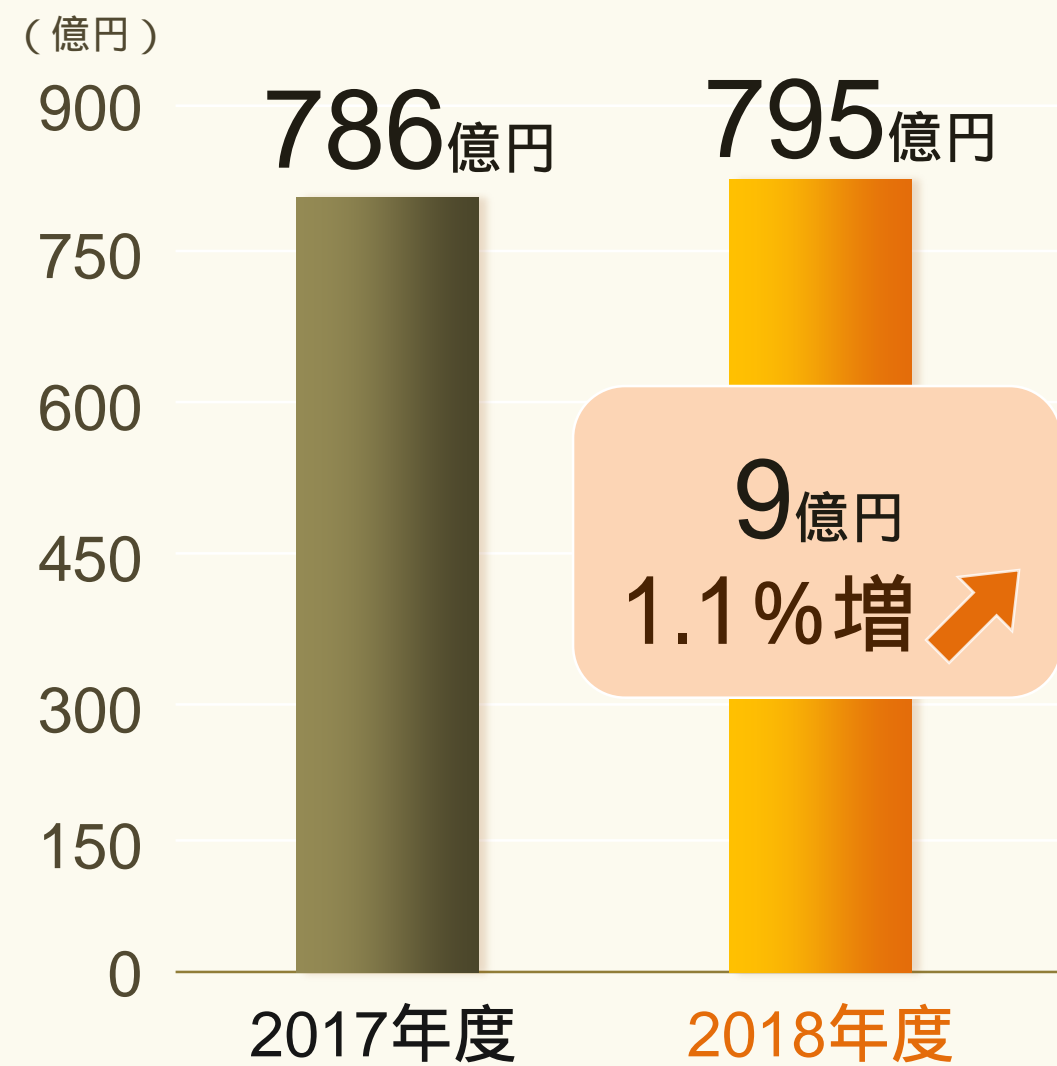
- | シンガポール
- | 韓国
- | オセアニア



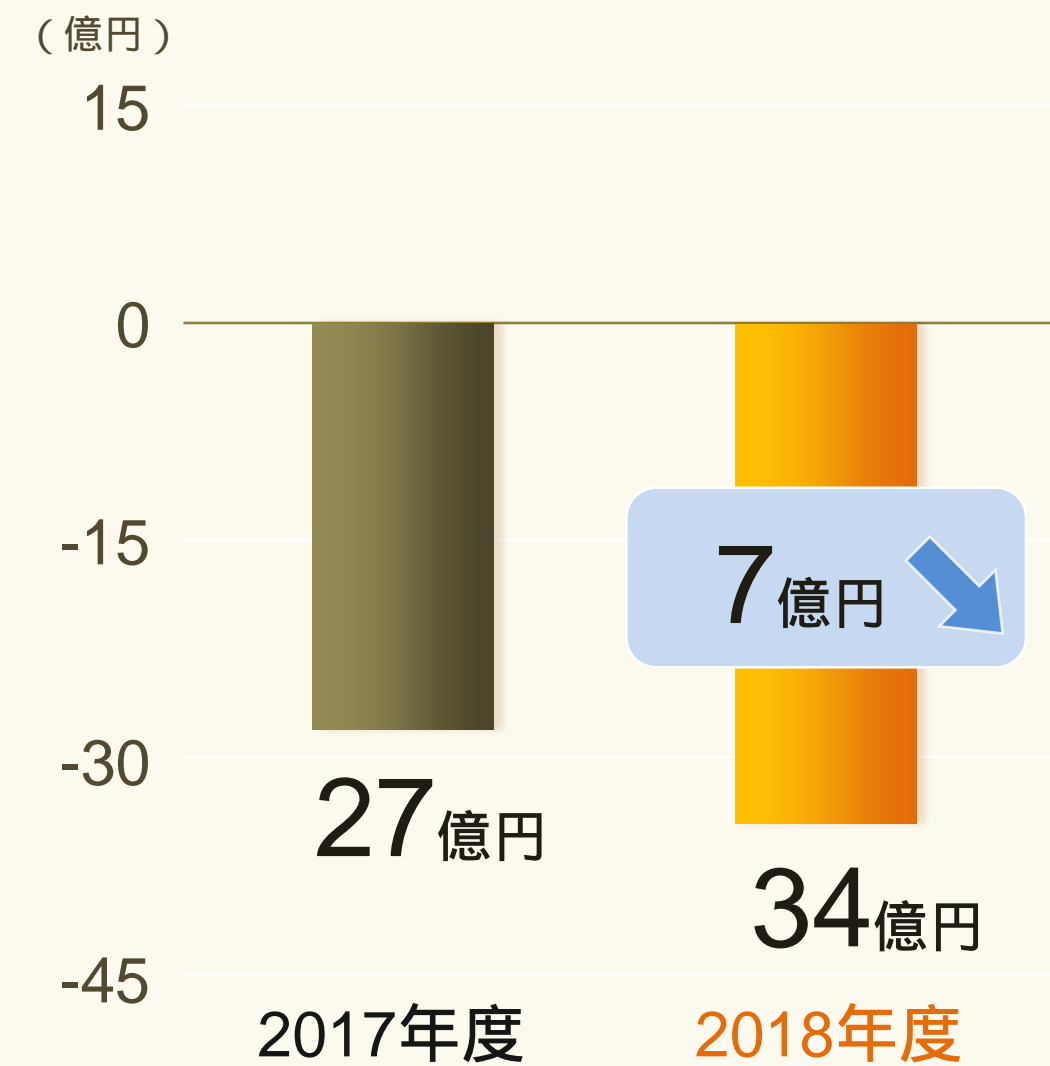
ベトナムにおいて黒字化を達成

国際事業の業績

売上収益



営業損失



食品・飲料事業

n 国内飲料総需要

→ 前期比102%と推定



サッポログループならではの価値提案

食品・飲料事業：国内飲料 / 国内食品

強みを生かした主力ブランドへ投資を集中



基幹商品が好調に推移

大豆・チルド事業

➔ 新ブランド「ソイビオ」
を発売



需要拡大

■ 食品・飲料事業：国内飲料 / 海外飲料

n コーヒー飲料

➡ 缶コーヒー市場が低迷



コーヒー飲料の売上減少

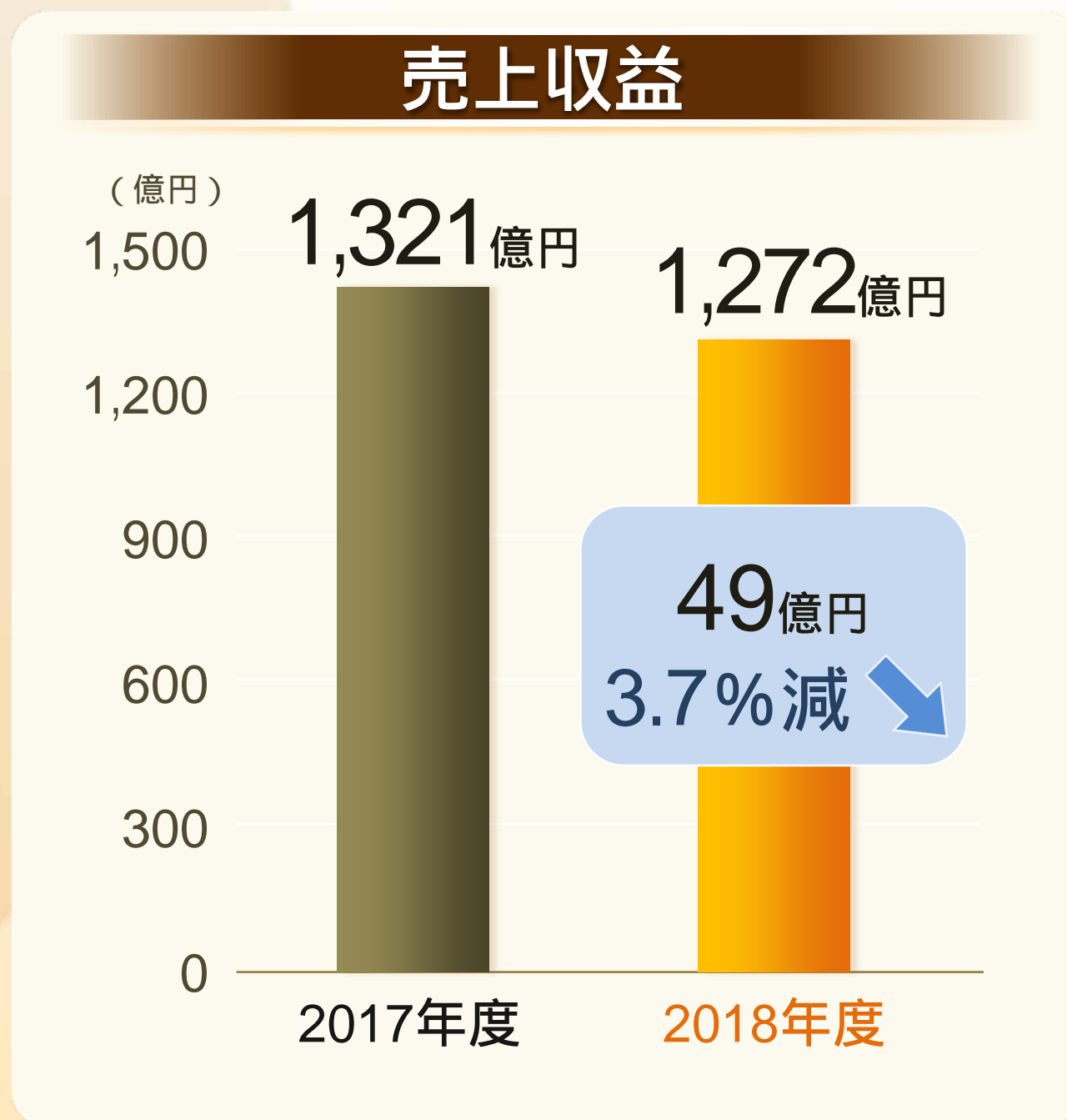
n 海外飲料

➡ シンガポール以外の世界各国において低調



輸出が低調に推移

食品・飲料事業の業績



■ 外食事業

n 国内外食業界

- | 業界全体として売上収益では回復基調が続く
- | 人手不足に伴う採用コスト増や原材料の仕入価格上昇基調



厳しい経営環境

■ 外食事業

企業理念

「JOY OF LIVING ~ 生きている喜び ~」

- 安全・安心な商品の提供を心がけ
「お客様へ100%満足の提供」
を目指す店舗づくりを進める

■ 外食事業：国内



「エビスバー」3月 九州初となる博多に出店

「銀座ライオンビヤガーデン」5月 千葉・柏に出店

「銀座ライオン」8月 川崎、9月 広島に出店

➡ 不採算店舗の閉鎖・業態転換を進め、収益力を改善

当期末の国内店舗数 195店舗

■ 外食事業：国内 / 海外

n 新業態「そばえもん」



串天・鴨だしおでん そばえもん
大崎店



串天・鴨だしおでん そばえもん
青山一丁目店

4月オープン 大崎店

11月オープン 青山一丁目店

お客様の高評価を得る

n シンガポール



GINZA LION サンテック店



銀座ライオン(ビヤホール) 1店

競合の参入で市場競争が激化

ビヤホール業態に集中

■ 外食事業の業績

売上収益



営業損失



不動産事業

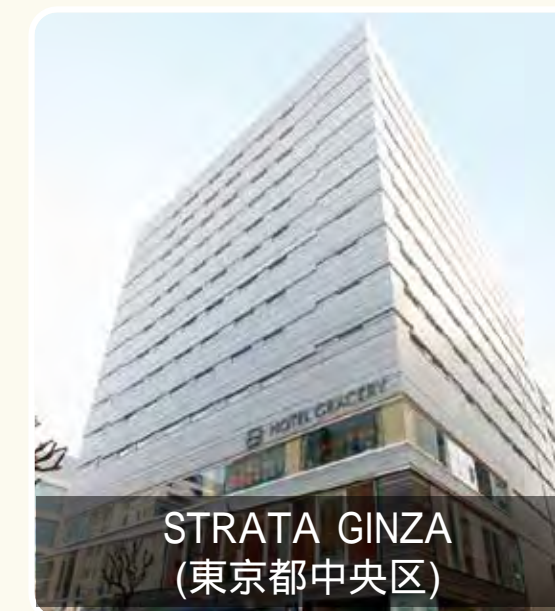
n 首都圏オフィス賃貸市場



- 好調な企業業績を背景に引き続きオフィス需要が堅調
- 依然として空室率は低い水準で推移

賃料水準も緩やかな上昇傾向が継続

■ 不動産事業：不動産賃貸



首都圏を中心とする保有物件が高稼働率を維持

■ 不動産事業：不動産賃貸

n 「GINZA PLACE (銀座プレイス)」

┆ 街の賑わい創出や集客向上に貢献

施設コンセプトである「発信と交流の拠点」
としてさらに情報発信力を高める



業績向上に寄与

■ 不動産事業：恵比寿まちづくり

n 恵比寿で3物件取得



エルスタンザ代官山



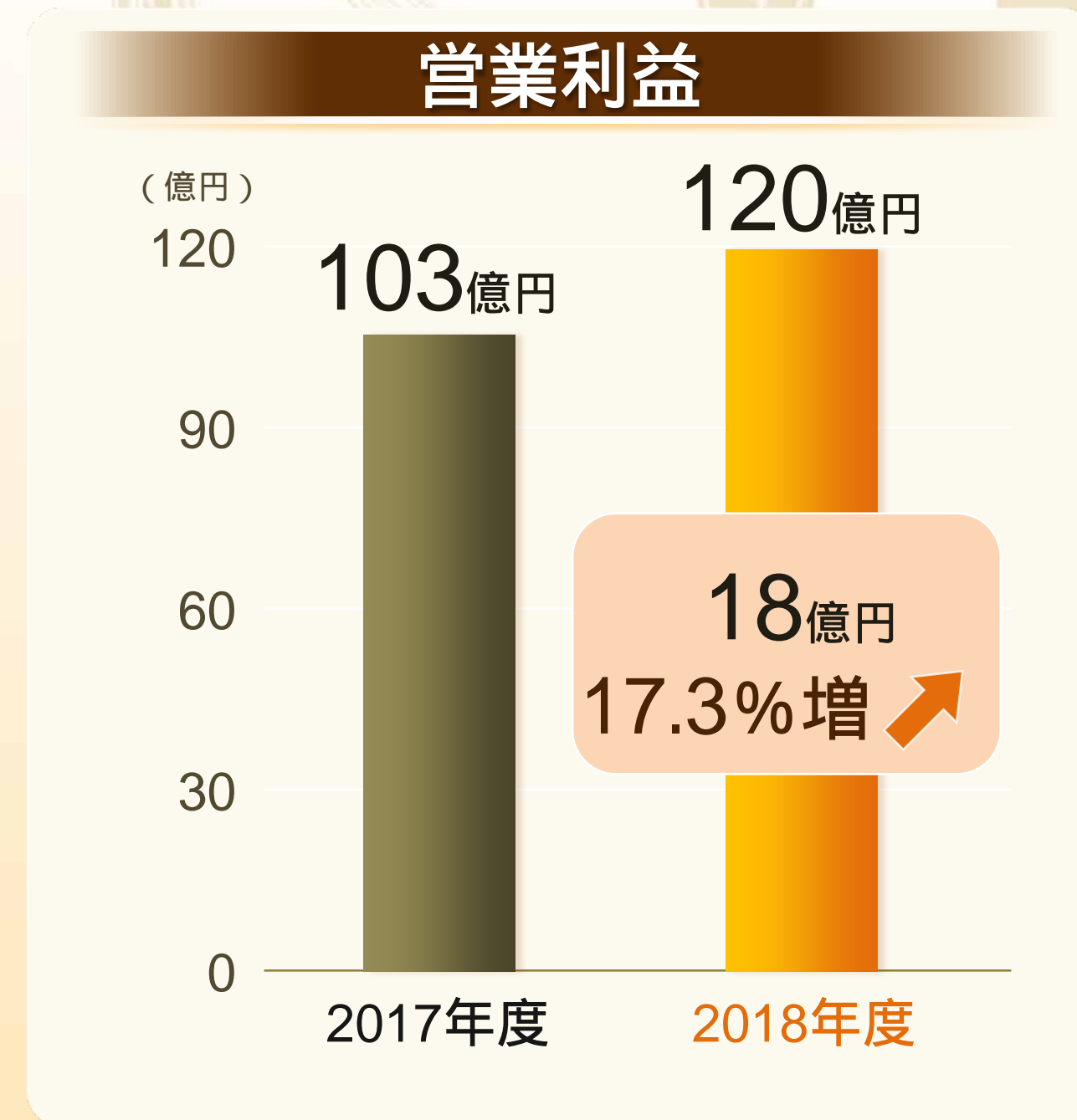
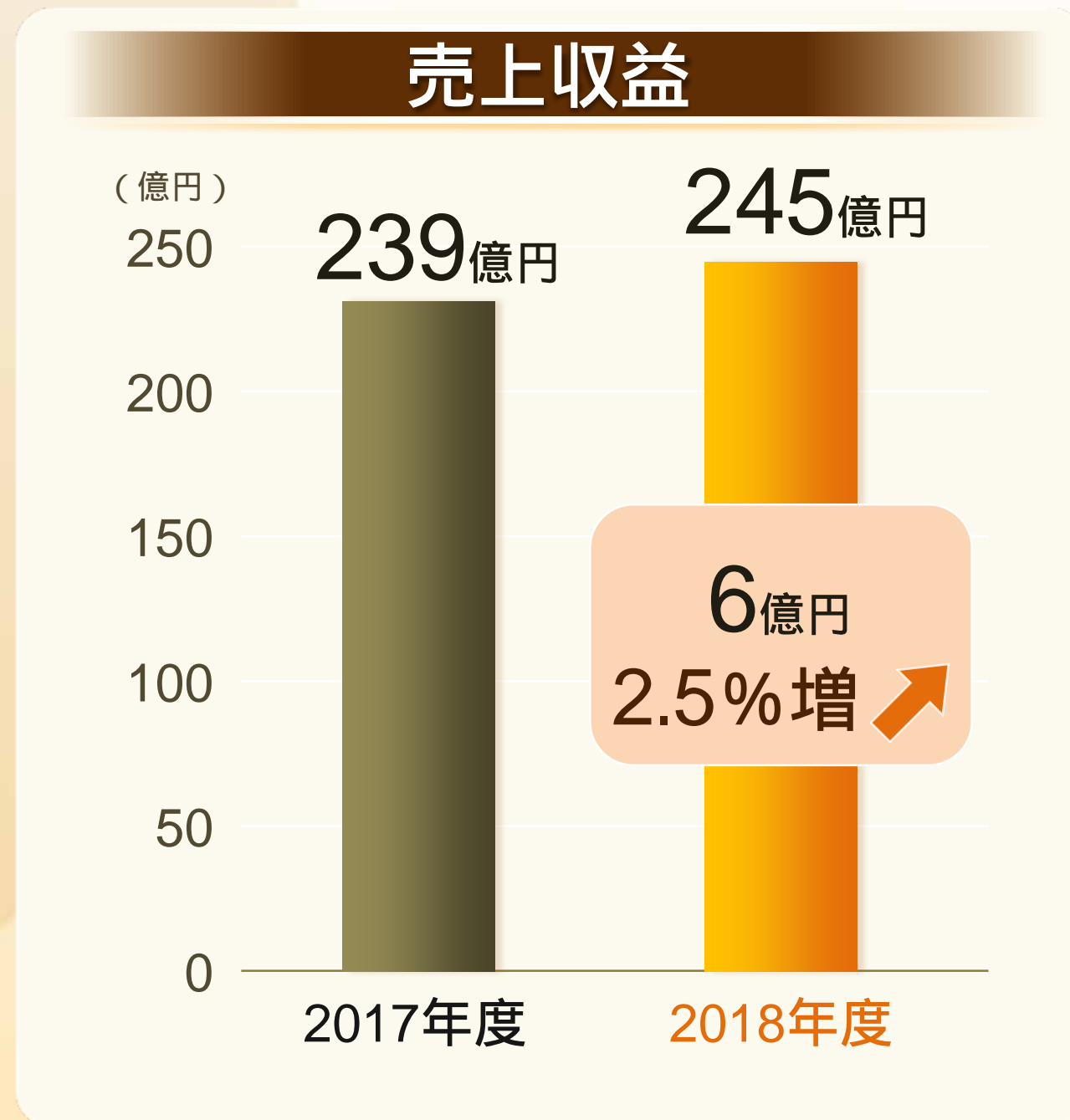
シエルブルー恵比寿EAST



(仮) Sreed EBISU
(スリード エビス)
(完成イメージ)

恵比寿の街の魅力向上のために「まちづくり事業」を推進

不動産事業の業績



「財産及び損益の状況の推移」

31頁 ~ 32頁

「設備投資の状況」

「資金調達の状況」

「企業集団の現況に関する重要な事項」

「重要な子会社等の状況」

「従業員の状況」

「当社の主要な借入先の状況」

33頁 ~ 36頁

「株式の状況」

「新株予約権等の状況」

「会社役員等の状況」

37頁 ~ 40頁

「主要な事業内容」

「主要な営業所、工場及び施設」

「会計監査人の状況」

「業務の適正を確保するための体制及びその運用状況の概要」

「会社の支配に関する基本方針」

インターネット
開示

連結計算書類

資産合計 6,396億 92百万円 前期末比 250億 39百万円 減少	負債合計 4,749億 57百万円 前期末比 140億 63百万円 減少	資本合計 1,647億 35百万円 前期末比 109億 75百万円 減少
---	---	---

主な増減要因

- n **資産の部** ↓
 - ・その他の流動資産、有形固定資産の増加
 - ・営業債権及びその他の債権、その他の金融資産の減少

- n **負債の部** ↓
 - ・退職給付に係る負債等の増加
 - ・社債及び借入金、繰延税金負債の減少

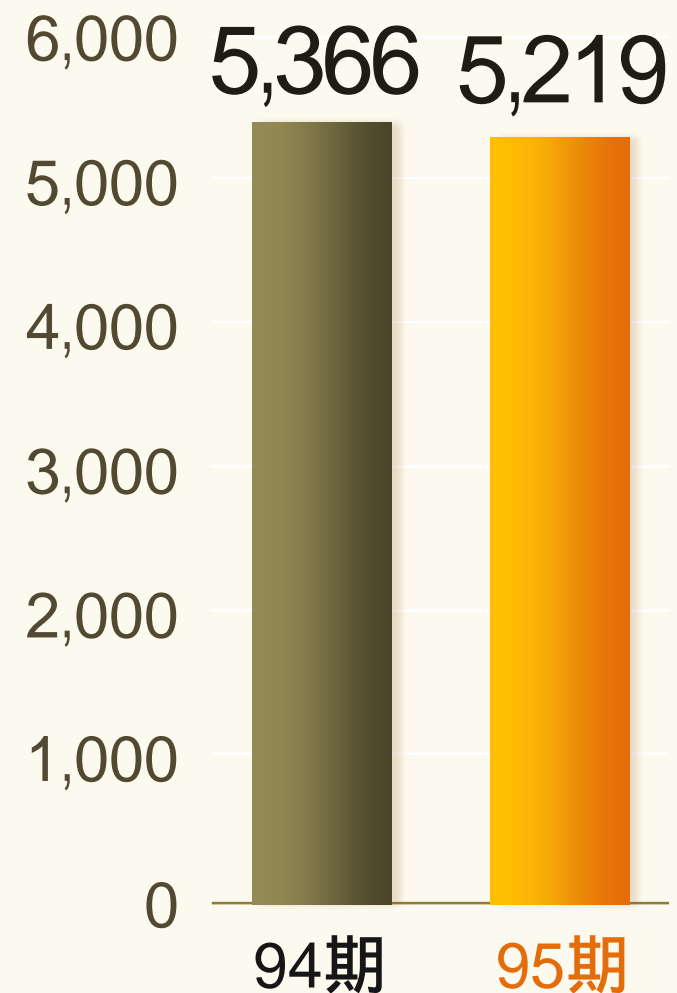
- n **資本の部** ↑
 - ・親会社の所有者に帰属する当期利益の増加
 - ・期末配当の実施、その他の資本の構成要素の減少

売上収益

前期比

147億29百万円

(億円)

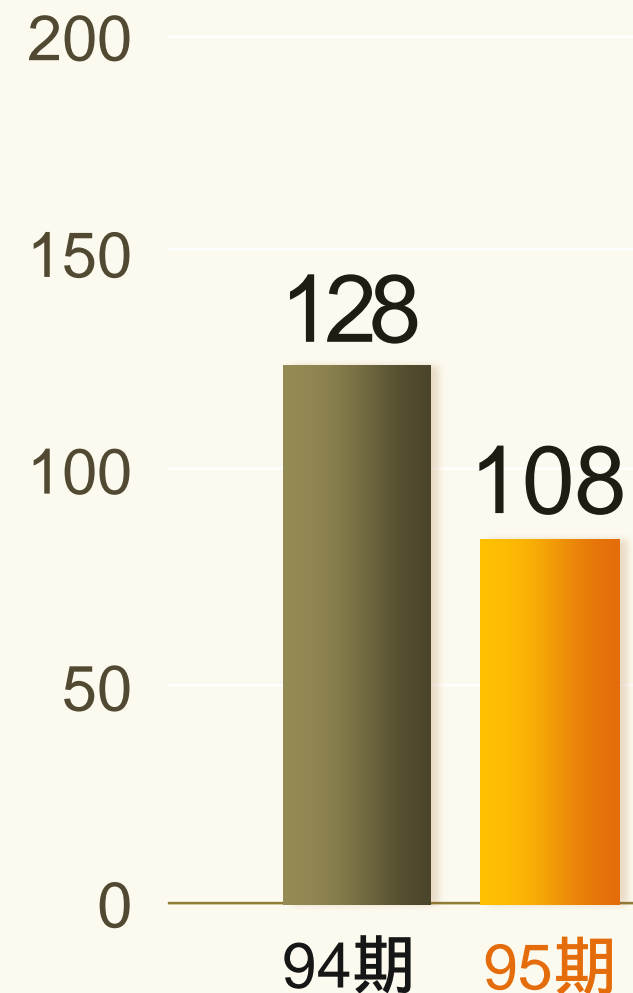


営業利益

前期比

19億77百万円

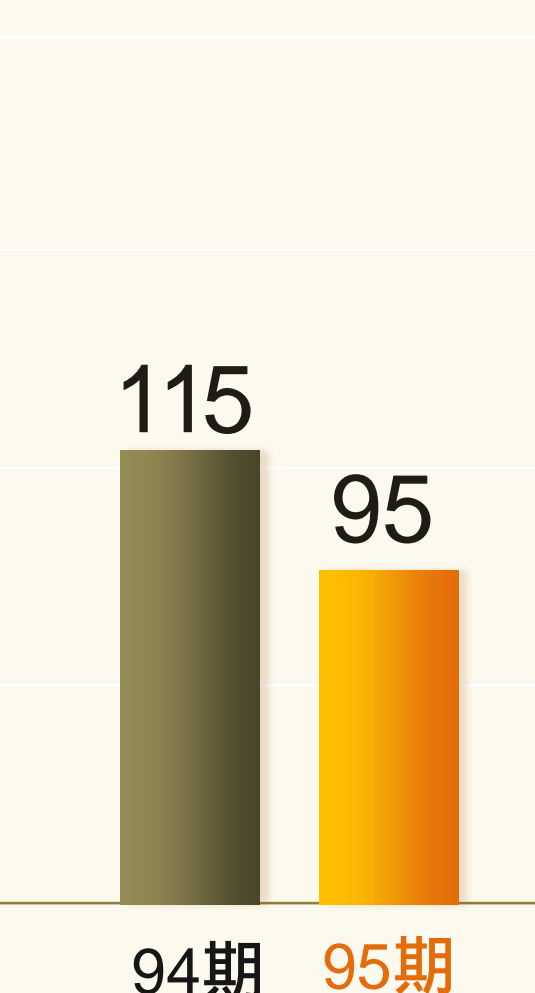
(億円)



税引前利益

前期比

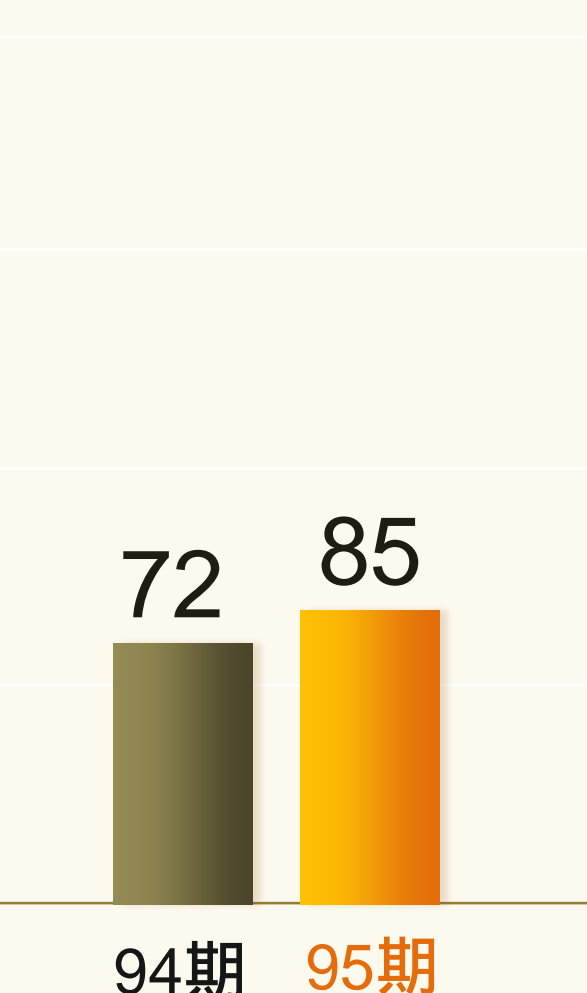
20億45百万円



親会社の所有者に帰属する 当期利益

前期比

13億34百万円



n 連結計算書類

「連結持分変動計算書」
「連結注記表」

インターネット
開示

n 計算書類

「貸借対照表」

45頁

「損益計算書」

46頁

「株主資本等変動計算書」
「個別注記表」

インターネット
開示

対処すべき課題

サッポログループ長期経営ビジョン 「SPEED150」「第一次中期経営計画2020」

長期経営ビジョン

創業以来140年の歴史の中で培われた「ブランド資産」
コア事業を『酒』『食』『飲』の3分野と位置づけ

SPEED150 ロードマップ

第一次中期経営計画
(2017-2020)

成長ステージへの移行に向けた
異次元スピードでの変革

第二次中期経営計画
(2021-2023)

成長ステージでの飛躍を実現する
積極投資と成果創出

第三次中期経営計画
(2024-2026)

次なる成長ステージを見据えた
機会創出への挑戦

第一次中期経営計画2020

基本方針と戦略概要

成長ステージへの移行に向けた **異次元スピードでの変革**

事業活動

既存事業の継続的成長

投資事業の成果創出

グループ経営

経営資源の戦略的シフト

セグメント経営の事業構造変革と推進

サッポログループ中長期的な経営戦略

27頁～28頁

サッポログループの主要事業での取り組み課題

29頁～30頁



SAPPORO

サッポロホールディングス株式会社